


18	ドローンを活用した荷物等配送に関するガイドライン	事業URL <a href="https://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000675.html">https://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000675.html</a>		問合せ先 国土交通省 総合政策局 物流政策課 03-5253-8799		
関連する取組	事業実施主体 (対象者)	支援対象・内容 (ハード・ソフト)	補助率等	公募時期	事業要望 調査時期	令和5年度 当初予算(百万円)
物流・配送	ドローン物流事業を計画する者 (民間事業者、地方公共団体等)	ソフト				0
趣旨・目的	ドローン物流に関する課題を抽出・分析し、その解決策や持続可能な事業形態を整理し、ドローン物流の社会実装を推進する。					
事業内容	ドローン物流サービスにこれから着手する主体を対象に、導入方法や配送手段等に関する具体的な手続き及び参考となり得る取組等の事例集を取りまとめた「ドローンを活用した荷物等配送に関するガイドラインVer.4.0」により、ドローン物流の社会実装に向けた取組の普及を促進。					

## 第 1 部 社会実装編

### 第 1 章 利用者視点を踏まえた 事業コンセプトの構築

- 1.1 ドローンを活用した荷物等配送サービス提供の流れ
- 1.2 地域が抱える課題の整理
- 1.3 課題解決方策としてのドローンの有効性の確認
- 1.4 活用方策の具体化

### 第 2 章 検討・実施体制の整備

- 2.1 サービス利用者の明確化
- 2.2 サービス提供体制の構築
- 2.3 地元地方公共団体、住民の理解と協力の確保
- 2.4 プロジェクトマネージャーの選定  
～多くの関係者の利害等を取りまとめ、事業を円滑に推進プロジェクトマネージャーを中心とする体制の重要性～

### 第 3 章 サービス内容、採算性確保

- 3.1 ユースケースに応じた機材の選定
- 3.2 離着陸場所、飛行ルート及び運航頻度
- 3.3 利用者インターフェイス ～利用者が利用しやすい注文、受付方法の検討～
- 3.4 荷物等の管理・配送 ～荷物等の積載方法、適切な温度管理、荷物の受取方法～
- 3.5 保険への加入
- 3.6 収支改善方策の検討 ～費用の低減(省人化)、収入増加(稼働率の向上、帰り荷の確保)、支援措置～

### 第 4 章 安全の確保

- 4.1 飛行マニュアルの整備
- 4.2 離着陸場所、飛行ルート
- 4.3 運航管理手法 ～他の有人機・無人機や気象等のモニタリング、飛行前における運航判断～
- 4.4 飛行方法別の安全対策 ～夜間飛行、目視外飛行、物件投下～
- 4.5 飛行後の注意
- 4.6 事故時の対処方針

### 第 5 章 PDCAサイクルの活用等による事業継続性の確保

## 第 2 部 法令編 (航空法に基づく安全の確保 その他関係法令 等)

### 事例集 (日用品・食品、医薬品、農水産品等)

ドローンによる医薬品配送に関するガイドライン

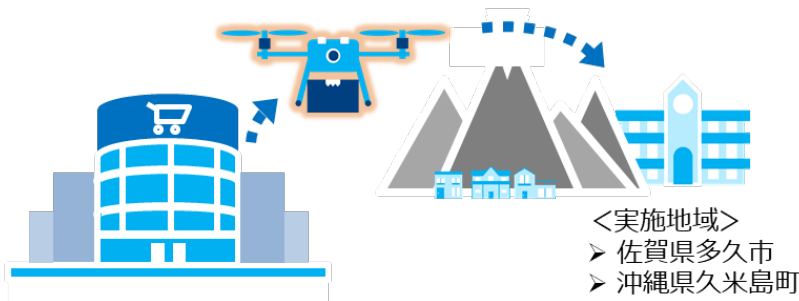


19	無人航空機等を活用したラストワンマイル配送実証事業	事業 URL <a href="https://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu0_hh_000685.html">https://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu0_hh_000685.html</a>		問合せ先 国土交通省総合政策局物流政策課 03-5253-8799		
関連する取組	事業実施主体(対象者)	支援対象・内容(ハード・ソフト)	補助率等	公募時期	事業要望調査時期	令和4年度補正予算(百万円)
ドローンを活用した荷物等配送に関するガイドライン	事業者	ソフト	上限 1,000万円	令和5年2月21日～令和5年4月28日		2億円の内数

- 2022年12月に無人航空機のレベル4飛行（有人地帯における補助者なしでの目視外飛行）が解禁された。
- ドローン物流の実用化やラストワンマイル配送のためのモビリティ同士の連携を後押しし、生活利便性の抜本的改善及び物流網の維持を図るため、**過疎地域等においてレベル4飛行に対応したドローン物流に関する実証事業等を実施**し、得られた成果を横展開することで、ドローン物流の社会実装を促進する。

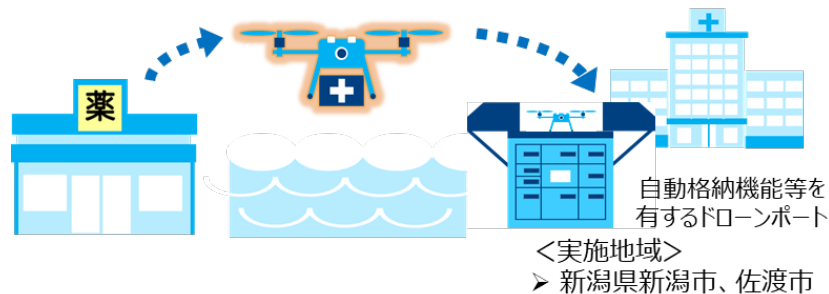
### レベル4飛行

レベル4飛行によるドローン配送の実用化に関する検証



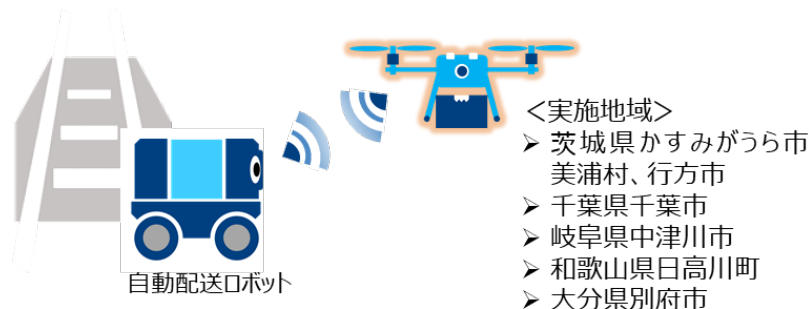
### ドローンポートとの連携

ドローンとドローンポートの連携によるラストワンマイル配送効率化に向けた検証



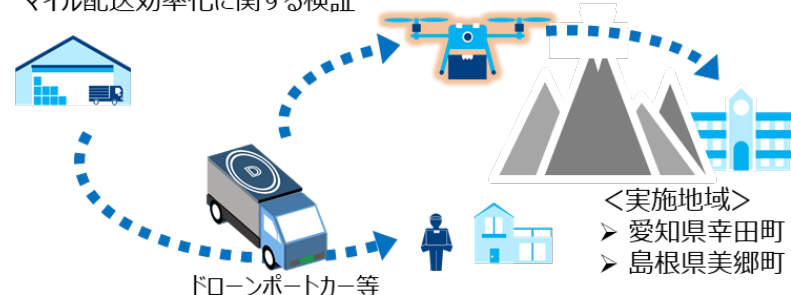
### 自動配送ロボットとの連携

ドローンと自動配送ロボットとの連携に関するラストワンマイル効率化に関する検証



### 新たなモビリティとの連携

ドローンと、自動運転巡回バス又はドローンポートカーの連携による、ラストワンマイル配送効率化に関する検証



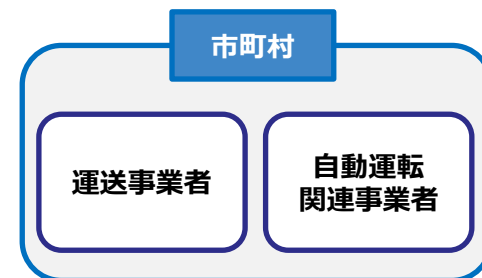
20	地域公共交通確保維持改善事業費補助金 (自動運転実証調査事業)		事業URL	(公募URL) <a href="https://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha07_hh_000452.html">https://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha07_hh_000452.html</a>	問合せ先 国土交通省自動車局 技術・環境政策課 03-5253-8111
	関連する取組	事業実施主体 (対象者)	支援対象・内容 (ハード・ソフト)	補助率等	
	地域交通、DX・GX	地方公共団体	ハード・ソフト	定額	令和5年5月26日～令和5年7月25日
					事業要望調査時期 令和5年度 当初予算(百万円) 207億円の内数

- 地方公共団体が地域づくりの一環として行うバスサービスの自動運転（レベル4）について、持続可能性（経営面、技術面、社会的受容性等）を検証するため、長期にわたり実証事業の実施が見込まれる事業を支援

### <対象事業者>

地方公共団体（市町村）及び道路運送事業者等

- ※ 将来的に「レベル4」の自動運転関連技術を有することが見込まれる者であること。



### ○実証のポイント

- ・ 自動運転による地域のモビリティ確保や財政的な持続可能性の検証（サービス形態・運賃、事業実施に必要な体制・要員、資金調達）
- ・ 自動運転技術の経営面、技術面の妥当性及び社会的受容性 等



自動運転・隊列走行BRT イメージ  
(ソフトバンクHPより)

### <対象事業のイメージ>

- ・ 鉄道の廃線跡における自動走行BRT
- ・ 定時定路線型の自動運転移動サービス
- ・ 域内の特定のポイント間で運行するデマンド型の自動運転移動サービス

### <補助対象経費>

- ・ 車両改造・自動運転システム構築費
- ・ 協議会・説明会開催経費
- ・ 実証運行の経費 等